

令和元年11月15日
(2019年)

保護者のみなさまへ

吹田市立千里丘北小学校
校長 高 誠一

平成31年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「平成31年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月初旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語と算数に限られ、測定されたものは学力の一部であって、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にしていただきますようお願いいたします。

1 教科に関する調査の分析

●国語《概要》

全体的に全国値を上回る。

●国語《各領域における成果と課題》

話すこと・聞くこと ・全国値を上回る。

書くこと ・全国値を上回る

読むこと ・全国値をやや下回る。

・「目的に応じて文章の内容を的確に押さえ理解する」ことに一部課題がある。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

・全国値を上回る。

・「伝統的な言語文化の理解」は概ねできている。しかし、ことわざなどを用いた文章の使い方に課題がある。

●国語科における成果と今後の改善点について

国語に関しては、全国平均を上回っている。しかしながら、伝統的な言語文化の領域では、ことわざの理解に課題がある。今後とも、国語の教科書にある四季の言葉の学習や物語文の中にあることわざなどにスポットをあてて指導していく。また、読むことの領域では、資料の中から、自分に必要な事柄を的確に押さえ、選び取る力に課題がある。そのため、他教科においても複数の資料の読み取り考える活動を行うなど、読みとることに重点を置いた学習を取り入れていく。

●算数《概要》

全国値を上回っている。

●算数《各領域における成果と課題》

- 『数と計算』 ・全国値を上回る。
- 『量と測定』 ・全国値を上回る。
- 『図形』 ・全国値をやや上回る。
- 『数量関係』 ・全国値を上回る。

◎算数における成果と今後の課題について

算数全体を見ると、全国値を上回っている。その中でも、「量と測定」の領域においては、全国値を大きく上回っている。ただ、細かく見ていくと、全国値を下回った問題が2つあった。1つ目は「加法と乗法の混合した整数と小数の計算」である。特に計算のきまりの基礎的な部分で課題が残った。2つ目は「目的に適した伴って変わる2つの数量を見いだす問題」である。資料（日常生活における問題解決の場面）をよく読んで、答えを導き出すためには何が必要なのかを考える力に課題が残った。今後は、引き続き計算のような基礎的な力を培うとともに、問題解決型の資料の読み取りの力を付けることができるよう取り組みを進める。

2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

【学習環境・生活環境について】

- ・朝食・就寝・起床など基本的な生活習慣に関して全国平均値をやや下回るような結果となっている。特に就寝が不安定な傾向にある。
- ・自分にはよいところがある、物事を最後までやりとげてうれしかったことがある、難しいことでも、失敗を恐れず挑戦する、という項目が全国の割合をやや下回っており、自己肯定感にかかわりがあると考えられる。

【教科・学習について】

- ・家で自分で計画を立てて学習している児童は、昨年度に比べて大幅に改善している。しかし、全国値よりは未だ下回っている。
- ・「国語の授業が分からない」と答えた児童はいない。
- ・算数、国語ともに学習を普段の生活に生かそうとするという設問が全国値を下回っており、この部分に課題がある。

3 今後の取り組み

本調査の結果から、本校児童の学力は全体的に全国値を上回り、良好と言えます。教科に関する結果を踏まえ、本校では、授業の工夫や、学ぶ意欲を高める授業づくりをさらに進めて参ります。本校では来年度から実施される新学習指導要領の目標に沿った授業改善をテーマに掲げて研究を進めてきました。研究の中で、深い学びを実現する授業のスタイルを検討し、全教員で共有しています。この研究を踏まえ、本年度は「自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えられる児童の育成を目指して」をテーマに道徳科の研究を進めています。今後も研究テーマや教科を変えながらも、一貫して学習面、生活面に関わらず、問題、課題に対して真摯に向き合い、友だちとの交流を通じて多面的・多角的に物事を考えることのできる力を養っていきたいと考えています。

生活環境や学習習慣等の結果を踏まえ、自己肯定感にかかわりがある内容が、全国の割合を下回っていま

す。本校では「すべての子どもが安心できる学校づくりを目指して」をテーマに、全職員で内容を共有しています。毎年、どの学年でも同じルールで学習することで、子どもたちの「できた」を積み上げていくことができると考えています。今後も継続して行うことで効果がみられることを期待しています。児童の自立と幅広い学習の機会をつくるため、今後ご協力をお願い致します。